

欠席委員からの意見

1. 赤羽委員

会議事項1 県が講じた食と農業・農村の振興に関する施策の実施状況について
(実績年次報告)

(1) 多面的機能を維持・発揮するための活動

資料1 P100 ■達成指標 項目28 2行目

：…組織面積は拡大したが、「集落全体の合意形成が図れない」等の理由により、新規組織数の伸びが鈍化し、目標を下回った。

〔意見〕

- ・資料1 実績報告に上記の記述があり、29年度目標の達成が難しいようです。
- ・資料3-4 計画(素案) P22でも、農地や用水路・農道等の保全活動を共同で行う組織の活動は重要ということで、【達成指標】にこれを挙げています。
- ・新規組織の拡大や活動地区の継続が難しくなっている原因をしっかりと調査分析し、この対策を十分検討のうえ、新たな目標数値を設定してください。

(2) 小水力発電

資料1 P103 ■達成指標 項目29

：農業水利施設を活用した小水力発電施設の整備を進めた結果、目標2,100kwを上回る2,184kwの発電容量が確保された。

〔意見〕

- ・小水力発電について、第2期計画では「重点プロジェクト」として取組み、資料1 実績報告の上記記述のとおり、29年度目標に対して順調に進捗しているようです。
- ・資料3-4 計画(素案) P22でも、土地改良施設の維持管理負担の軽減を図るためには小水力発電は有効ということで、【達成指標】にこれを挙げています。
- ・しかし、可能性の高い地区は既に着工済で、これからの地区は様々な課題があると聞きます。
- ・新規着工のネックとなっている原因をしっかりと調査分析し、この対策を十分検討のうえ、新たな目標数値を設定してください。

会議事項2 次期食と農業・農村振興計画の素案について

(1) 導入品目に合せた生産条件の改善など、戦略的な産地形成

資料3-4 P5 2. 農業の現状と課題

(1) 次世代を担う農業者の育成・確保と農地利用 ・3つ目2行目

地域特性を活かした実需者ニーズの高い品目導入と、導入作物に合せた生産条件の改善など、戦略的な産地育成と担い手の確保が必要となっています。

〔意見〕

- ・資料3-4 計画(素案)に上記の記述がありますが、これに対する施策の基本方向・具体的な施策展開が見えません。
- ・多くの施策が、「〇〇を支援します。」となっていますが、この項目については、水稻の30年問題への対応も含め、県が主導的に関係機関と連携して、取り組んで頂きたいと思えます。

2. 清沢委員

会議事項2 次期食と農業・農村振興計画の素案について

(1) 外国人技能実習生の受入について

資料3-4 P15 イ 中核的経営体を支える雇用人材の安定確保

●生産現場にあった外国人技能実習生の受入を支援

〔意見〕

- ・外国人技能実習生の受入を支援するとされているが、本県の高い技術を実習生が習得することで、帰国後にどのような効果が発揮されているのか、検証できる仕組みを取り入れていただきたい。